



# マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

8月号 JUL 2015

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



2015年7月30日—31日に営業チームが富良野地区、岩井沢地区を訪問

## 北海道産玉葱順調でほっと一息？

暑中お見舞い申し上げます。毎日暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。天候異変についてマルト便でも度々掲載していますが、今年の夏も本当に気候が変わってしまっていることを実感しています。農産物を取り扱う会社として、この大きな変化に対してパートナーである栽培産地様とともに対策を行っていくことの必要性を強く感じています。

今期弊社契約産地の佐賀県産玉葱においては、過去例の無い程の不作の結果、数量面だけでなく、品質面においてもお客様に多数のご迷惑をおかけしている状況です。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

既報の通り今夏の国産玉葱流通は混乱を極め、北海道産の出荷を口を開けて待っている状況です。4月から6月までの東京中央市場への佐賀県産玉葱の入荷状況を調査してみると、今期は例年になく出荷が少ない状況が数字上でも見て取れました。（表①参照）資料は2011年から5か年の佐賀産玉葱の東京中央市場入荷量・平均単価の推移を記載しております。2015年産の特徴として入荷数量が伸びてこないことがわかります。4月こそほぼ平年並みの出荷となっておりますが、最盛期に入る5月・6月の入荷量では過去5年で最も少ない数量となっております。とりわけ6月の入荷量は非常に少なく、病気混入による製品化率が悪かったことが見て取れます。佐賀県産は貯蔵出荷の主力産地となるため、6月のこの数量減は7月・8月の出荷においても一層深刻な状況で継続しているものと思われます。

佐賀県産玉葱の市場の状況は上記状況により数量少なく、故に6月の平均単価では過去5年で最も高値で推移しております。このような年回りは加工契約玉葱産地にとっては契約生産者様の維持に大きく影響します。生産者様の手取り収入に大きな影響を与えるからです。あまりにも高値が市場で継続すると、生産量が少ない中で契約数量出荷を行っていくことが非常に困難になります。

今期の佐賀県の玉葱を取り巻く環境は、間違いなく今後の加工玉葱契約に影響があると考えています。マルチ商事としても大切な契約産地の一つです。産地様と今期が終了した際にはしっかりと永続的な取組ができるよう協議を進めて行きたいと思っております。

一方、後続の産地である北海道産玉葱の状況は現在のところ順調です。弊社においても過去最速での北海道産玉葱への原料変更となりそうです。7月に入り、弊社担当者も入れ替わり北海道内の各玉葱産地にて状況調査をさせて頂いております。トップ画像の畑は富良野地区の生産者様の圃場です。既に極早生品種に関しては倒伏が進んでいます。玉サイズも大きく揃っており、反収増が期待されています。

マルチ商事では今期府県状況を鑑みて、8月お盆明けからの北海道産使用を予定しております。例年より1か月早いスタートとなる見込みです。後に続く早生種・中晩成種も現状は各産地良好な状態で生育しており、期待が持てる北海道産となりそうです。しかし、8月1日には長野県で雹が降り、葉物関係に甚大な被害が出ている模様です。予測の難しい天候状況の中ですが、なんとか北海道玉葱のスタートが順調に切れるよう祈るばかりです。

◇5か年東京都中央卸売市場佐賀県産玉葱入荷量・単価推移(表①) 単位:数量=t 単価=円/kg 構成比=%

佐賀	4月			5月			6月		
	数量	単価	構成比	数量	単価	構成比	数量	単価	構成比
2011年	5,300	110	44.1	8,936	76	62.7	5,517	69	48.1
2012年	3,583	131	31.9	9,300	101	65.7	4,126	114	43.4
2013年	8,062	64	47.3	10,345	62	68.4	6,546	85	54.5
2014年	6,686	108	49.8	8,031	130	61.6	4,948	111	46.2
2015年	6,195	123	43.2	6,514	125	52.7	4,044	122	40.1

出展:農畜産振興機構HP資料より抜粋編集

## 営業中村のマルチ便PLUS!

8月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします!



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	例年8月の主力産地となる佐賀県産は前倒しでの終了が確定しております。現在宮城県産、徳島県産、愛知県産等を使用しながら、北海道産の入荷を待っている状態です。今期の北海道はエリアによって豊作不作がありますが、全体としては順調のようです。収穫までに雨が降りすぎないことを願っています。とにかく、北海道が待ち遠しいです...
中国	8月も山東省の玉葱が入荷します。7月と比べると、中国内での加工歩留りが落ちているため、日本への到着価格はさらに上がっております。入荷している玉葱の品質は良好ですが、全体的に小玉傾向であるため、Lサイズの使用をお願いすることが増えると思っておりますがご理解のほどよろしくお願い致します。
ニュージーランド	品質は安定しておりますが、終盤に差し掛かっているため今月中での切り上がりを予定しております。小玉ではありますが、シーズンを通して品位安定のため非常に助かりました。ニュージーランド産の赤玉葱については9月中にアメリカ産へ切替を予定しております。終盤ですので、品質を確認しながらお届けしたいと思います。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。  
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315